



2011年5月15日  
コンティニュー・ヘルス・アライアンス  
(Continua Health Alliance)

2011年5月12日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です

## コンティニュー・ヘルス・アライアンス 消費者向け製品展開の促進に向けてヘルスケアICT機器の 最新設計ガイドラインを公開

— エンド・ツー・エンドで“つながる”パーソナル・ヘルスケア ICT 機器の  
設計・開発ガイドラインの内容を追加 —

グローバルの医療機器メーカーやハイテク企業で構成するNPO法人のコンティニュー・ヘルス・アライアンスは、「コンティニュー設計ガイドライン2010」を一般公開しました。

この設計ガイドラインは、コンティニューが2010年末に会員企業に限定して公開していたものです。最新版では、これまでよりも効率的かつシームレスに健康データを管理/利用できるように、エンド・ツー・エンドで“つながる”パーソナル・ヘルスケア・ソリューションの確立を支援します。本設計ガイドラインの一般公開により、コンティニュー会員企業やその他の企業は相互運用性を確保するとともに、コンティニュー・システムの実現方法、あるいは基礎となる技術標準や仕様を確認することができます。

今回公開された最新版は下記5つの機能が新たに加われました。

- WAN(広域エリア・ネットワーク)インターフェースの追加：PC、携帯電話、ヘルス・アライアンスなど、アグリゲーション またはハブ・デバイスから健康データを受信し、標準化された形式でデータを遠隔モニタリング・サーバーや EHR (エレクトロニック・ヘルス・レコード：電子健康データ・サーバー) に送信します。このサービスは、IHE (Integrating the Healthcare Enterprise：医療情報システムの相互運用性を推進する国際的なプロジェクト) との連携で開発されました。
- PAN (Personal Area Network: パーソナル・エリア・ネットワーク)とセンサーLANに対応する2種類の新しいデバイスを追加：「ピークフロー・メーター」(PFメーター)と投薬モニタリングに使用する「アドヒヤランス・モニター」が追加されました。
- ISO/IEEE をベースにしたフレームワーク仕様の更新と強化：使用される機器やアプリケーションに関係なく、コンティニュー機器に記録されたデータの共通伝送プロトコルを定義します。
- センサーLAN (Sensor-Local Area Network: センサー・ローカルエリア・ネットワーク)インターフェースをサポートする ZigBee®を追加：ZigBee®は、家庭において複数のセンサー機器を使用する場合、その優れた効率によって選択されました。



- HRN (Health Record Network: ヘルス・レコード・ネットワーク) インターフェースに電子メールを追加: 遠隔モニタリング・サーバーと電子健康データ間のインターフェースを規定しています。

次の「設計ガイドライン 2011」には個人認証の取り扱いやデータの完全性に関する仕様が含まれる予定です。また、データ管理許可システム (consent management) が、現在コンティニウアの委員会でレビューされており、今年にもコンティニウアの会員企業に公開される予定です。

#### コンティニウア・ヘルス・アライアンスについて

コンティニウア・ヘルス・アライアンスは、パーソナル・ヘルスケアの質的向上をめざし、様々な医療機器や健康管理サービスの連携を通じて、人々の健康管理を支援する国際的なコンソーシアムです。本部は米国オレゴン州ビーバートンにあります。参加メンバーは全世界で 230 社にのぼり、人々の健康増進や健康管理、自立した生活の実現に向け、相互運用可能なパーソナル・ヘルス・ソリューションの確立に努めています。コンティニウアに関する詳細については、[www.continuaalliance.org/jp](http://www.continuaalliance.org/jp) をご覧ください。

#### 【報道関係からのお問い合わせ先】

コンティニウア・ヘルス・アライアンス日本地域広報窓口

電子メール: [japan\\_pr@continuaalliance.org](mailto:japan_pr@continuaalliance.org)